

2023年度「学生プロデュース」実施結果報告書

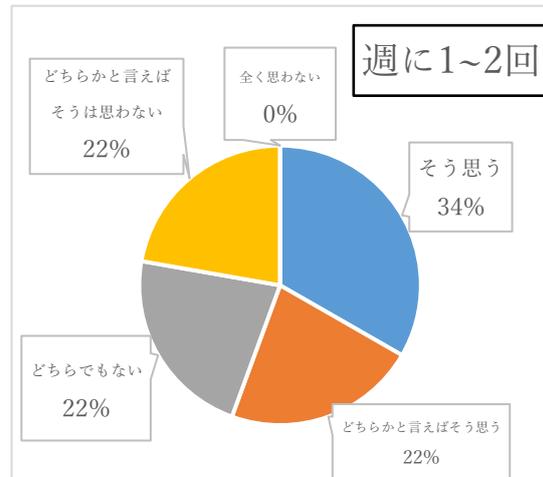
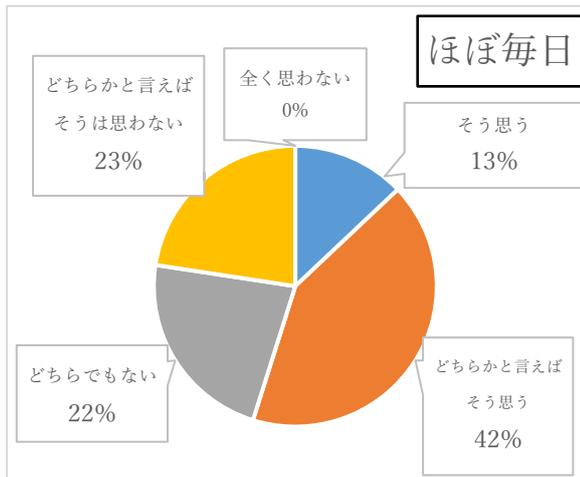
1 プロジェクト名 席ゆずりますマーク拡散プロジェクト～いえないどーぞのきっかけに～				
2 実施日程 8月9日 大阪府立住吉高校を訪問 8月25日 柏原市役所訪問 9月30日 10月1日 ロハスパーク大阪柏原(アンケート調査) 10月19日 住吉高校訪問(マークを配布し、調査開始) 11月4日 柏原市民総合フェスティバル(アンケート調査) 11月29日 住吉高校訪問(調査用紙回収)				
3 実施内容 1. 柏原市役所協力の下、市役所主催のイベントにてアンケート調査。 9月30日・10月1日の「ロハスパーク大阪柏原」、11月4日の「柏原市民総合フェスティバル」の計3日間行い、どちらのイベントでも100枚強の回収ができた。 2. 住吉高校の協力の下、実証実験を行った。国際文化科1年生(4組～7組の計4クラス)希望者にマークと記録用紙を配布し、登下校をはじめ公共交通機関を利用する際にマークを付けてもらい、実際に譲った回数を記録。期間は翌月19日までの1か月間行った。 3. 各掲示板にポスターを掲示。 ※柏原市役所1階掲示板(1枚)、河内国分ジョイフル内掲示板、住吉高校(2枚)、JR柏原駅大教専用掲示板(2枚)、近鉄安堂駅大教専用掲示板(2枚)、大教学内掲示板(A棟1階1枚2階2枚3階2枚、第二食堂前1枚、第一食堂前1枚、アイリス前階段下1枚)				
4 経費の使途 【配分額 300,000 円】				
事 項	数 量	単 価	金 額	備 考
APP 高白色ホワイトコピー用紙	4パック	613.75	2455	
コピー用紙	2パック	792	1584	
封筒 角型2号	1パック	918	918	
バインダー	1パック	2337	2337	
ジェルボールペン	1箱	1582	1582	
クリアファイル	2パック	960	1920	
印刷費(チラシ フルカラー)	500枚	6	3000	
印刷費(アンケート 白黒)	400枚	1	400	
印刷費(説明書 白黒)	50枚	1	50	
印刷費(記録用紙 白黒)	50枚	1	50	
印刷費(説明書・記録用紙 白黒)	40枚	1	40	
大判プリンター 印刷費	2枚	1200	2400	
印刷費(QRコード 白黒)	1枚	1	1	
大判プリンター 印刷費	4枚	1200	4800	
合 計			21,537	

5 プロジェクトの成果

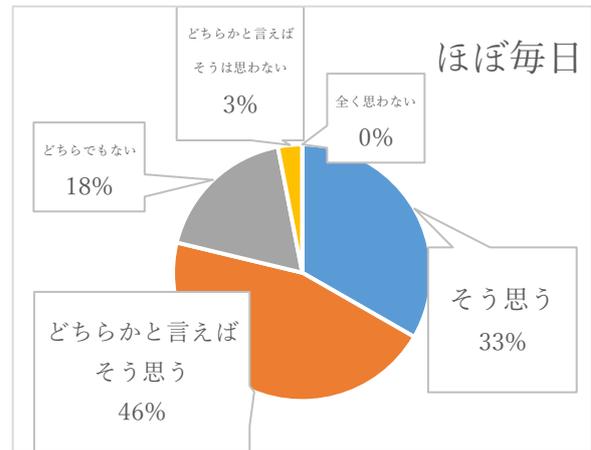
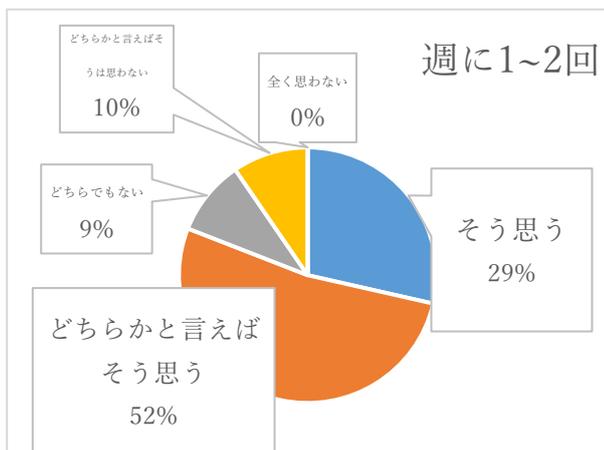
アンケート調査では認知度に大きな成果は見られなかったものの、「付けたいと思うか」という質問に対して「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人が、1回目の調査では「ほぼ毎日」電車に乗る人のうち、「マークを付けたい」に対して「そう思う」と答えた人は13%、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人は42%という結果になった。また、「週に1~2回」のうち、「そう思う」と答えた人は34%、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人は22%となった。また、2回目の調査では、「ほぼ毎日」電車に乗る人のうち、マークを付けたいと思うかに対して「そう思う」と答えた人は33%、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人は46%、「週に1~2回」電車に乗る人のうち、マークを付けたいと思うかという質問に対して「そう思う」と答えた人は29%、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人は52%という結果になった。これらの結果から、マークに対して肯定的な印象は比較的多いことが分かった。したがって、マークに対する需要も比較的高いことがわかる。

住吉高校の実証実験では、57名に協力してもらい、記録用紙を回収した。声をかけられ譲った回数は0という結果で、マークを付けることで効果があるという結果は得られなかった。今回の実験から、マークを広めていく仕組みや、声をかけやすくすること、意図が伝わりやすくすることなどの課題点が見つかった。実際に譲る回数が少なかったことについては、マークの認知があまりされていない点が原因であると考え、広めていくための活動が課題である。大衆への発信はうまくいかなかったものの、学内や駅、市役所にポスターを貼り、大教関係者にはポスターから活動に興味を持つ、知ってくれるという人がおり、活動の様子を含め発信していくことができた。実際のマークは実験に協力してもらった高校生に加え、活動者の周囲の友人などに配っている。今年度の活動として、マークを広く認知することはできなかったものの、大教から外部へと発信していくことができ、柏原市役所・住吉高校の協力の下、多くの人に知ってもらう可能性のある活動ができたといえる。

アンケート調査(1回目):回答数135



アンケート調査(2回目)回答数:112



活動の様子

